

不動産・動産 記入例

様式第11号(第40条関係)

津山圏域消防組合 消 防 長 殿		〇〇年 〇〇月 〇〇日 提出年月日を記入	
届出人住所 岡山県津山市林田〇〇番地		建物(住宅・店舗等)が焼損した時の様式 (火災損害届の解説1(1)イ参照)	
職 業 飲食業		氏 名 消防 太郎	
時刻不明の場合は調査担当職員に聞き、提出の際に記入して下さい。			
火 災 損 害 届 (不動産・動産用)			
1	り 災 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	損害見積額 不動産の損害見積額総合計を記入
2	り 災 場 所 及び対象名	岡山県 津山市林田〇〇番地	損害見積額 不動産 1,530,000 円 動産 759,100 円
		焼き肉じゅうじゅう 店舗兼住宅	
り災物件と届出人の関係		1. 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4.	
3	り災建物の構造・規模	構造 木造 スレート葺 モルタル壁(張)	用途 店舗兼住宅
	階 層	地上 2 階	新築当初にかかった建築金額を記入 132㎡
4	り災建物の経過	建築年月	〇〇年 〇月 建築金額 20,000,000円
		購入年月	← 建売住宅・中古住宅等を購入した場合に記入
		増改築年月	〇〇年 〇月 増改築金額 500,000円
増改築年月		← 3回以上増改築した場合は別紙火災損害届に記入 増改築にかかった金額を記入	
5	建物以外の不動産り災状況	り災物件名	り 災 種 別 数量又は面積 取得又は建設年月
		塀	焼損 水損・他 10m 〇〇年 〇月 500,000円
		庭木	焼損 水損・他 1本 損害見積額を記入 〇月 30,000円
6	火災保険の契約状況	保 險 会 社 名	契 約 区 分 契 約 年 月 保 險 金 額
		岡山損害保険	不動産・動産 〇年 〇月 20,000,000円
		岡山損害保険	不動産・動産 〇年 〇月 10,000,000円
			不動産・動産 年 月 円
			不動産・動産 年 月 円

津山圏域消防組合

り災した建物の居住者について記入して下さい。(事務所等居住者がいない場合は空欄)					
7	り 災 世 帯 員	氏 名	続 柄	生 年 月 日 ・ 年 齢	性 別
		消防 太郎	世帯主	〇〇年 〇月 〇日生 〇〇歳	男・女
		消防 花子	妻	〇〇年 〇月 〇日生 〇〇歳	男・女
		消防 次郎	長男	〇〇年 〇月 〇日生 〇〇歳	男・女
				年 月 日生 歳	男・女
				年 月 日生 歳	男・女
				年 月 日生 歳	男・女
8	連絡先	住所 津山市林田〇〇番地	氏名 消防 太郎	電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
注 意 事 項					
<p>1. この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。</p> <p>2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。</p> <p>3. この届出は、建物1棟ごと、又は所有者ごとに作成し、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。</p> <p>4. この届出には、動産がり災した場合、「り災物件明細書」を添付してください。</p>					
記 入 要 領					
(4の欄) 1. 建築購入金額は、り災した建物の総建築費又は総購入費を記入してください。					
2. 建物の用途欄は、住宅、店舗、倉庫、工場、物置、作業場等り災前に使用されていた用途を記入してください。					
3. 建物を建築又は購入してから、り災するまでの間に増・改築した場合は具体的に記入してください。					
4. 坪を㎡であらわす場合は、3.3倍してください。					
(5の欄) 1. り災した物件の欄は、塀の類、庭木の類、物干し台等り災した物件を記入してください。					
2. り災種別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼損・水損その他の意味は、次のとおりです。					
(1) 焼 損 焼けた物、熱で変質、変形した物等					
(2) 水 損 消火のために、濡れた物、壊れた物、汚れた物等					
(3) その他 煙で汚れた物、運び出すとき、避難するときに壊れた物等					
(6の欄) 1. 契約区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。					
(7の欄) 1. 世帯員である同居人も記入してください。					
(8の欄) 1. 今後の連絡先の住所、電話番号を記入してください。					
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。					
調査担当		署・所 氏名 電話番号 ()			

津山圏域消防組合